

四谷の

千枚田だより



第224号

環境保全の
推進
千枚田環
境整備五
月二十九日、
十月二十四

鞍掛山麓千枚田保存会総会

令和四年度総会については、第一回理事会として令和四年四月十八日送達の書面了承を得て、五月七日を書面決議日として総会とした。

コロナ禍の影響

令和二年度、三年度理事会や総会はコロナ感染症に伴う緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置等の発出により、「三密」の回避を励行し、屋内で実施する会合を避けた対応とした。なお、環境整備や稲作体験等の屋外で実施する事業は実施した。

【基本方針】全国的な知名度を集めている「四谷の千枚田」を保存、保全活動としての各種事業、行事を引き続き実施し、農業振興と地域の活性化に向けての一助とすべく、下記事業計画を基本方針とする。

令和三年度事業報告

鞍掛山麓千枚田保存会総会

ハガキ議決結果で議決了承。理事会の開催(書面了承)

令和三年四月十六日、九月二十六日、令和四年二月二十三日。

日 千枚田入口及びふれあい広場の草刈り作業

千枚田の啓発普及活動

・四谷の千枚田だよりの発行

・豊橋調理製菓専門学校の育農体験学習

・その他の事業、行事等

「ふるさと水と土指導員」活動支援
※農機具等の燃料ほか、各種資材の提供を愛知県から受ける。

・子ども農学校への協力(稲作体験)

主催 TA愛知東 対応：高橋庄一顧問

上記のとおり、関係行事の事前打合せ等を役員で調整を行い、関連等の事業活動を実施、現地見学会の説明案内及び 報道機関の取材、各地で開催された各種シンポジウム等への参加、「四谷の千枚田と案山子」

絵画コンクール全般、豊橋調理製菓専門学校生徒、鳳来寺小学校児童の稲作体験及び環境学習活動、鳳来中部小学校児童の環境現地学習等に

関しては会長が対応した。

令和四年度事業計画

事業計画については例年通りの計画とし、すでに二件の事業(横浜

ゴム㈱) 新入社員、幹部社員研修の

受入れ、奥三河パワートレイル大会



お田植感謝の夕べ

〜みんなで灯そう千枚田〜
感染症「第六波」が減少傾向にあるものの、全国的には「第七波」の兆候が危惧されるなか「お田植感謝の夕べ」の開催決行までは、今のところ(十五日現在)踏み切れない。開催すれば、多くの人流は免れないし、飲食も伴うことからクラスターの心配も大きい。
五月五日の「長篠合戦のぼりまつり」も各種イベントはすべて中止、神事のみ開催であった。
はてさて、思案の真つ最中：

のエイドステーションの総括)を実施。また、学校関係等の稲作体験学習の一環とした田植えも実施した。

【保存会の体制】

会長 小山舜二 副会長 高橋孝行

会計 松下 誠(事務局)

理事 高橋伸治 夏目宏一 小山孝夫

稲熊富平 原田英史

顧問 高橋庄一

会員 金古浩一 田中幸夫 今泉徹

古田和男 今泉一憲 中村史樹 小山

傳治郎 小山秀夫 丸地典利 村雲伸

一 原田武典 原田勇 丸地光世 稲

熊良隆 山中哲郎 柴田賢治郎

代掻き&田植え

五月六日、鳳来寺小学校五年生十一人は一月十八日に冬耕した田んぼの代掻きをした。



水の張られた三枚の学習田を備中や鍬で代掻きを行ったものの、田んぼがあまりにも小さく、危険が伴うため、大雑把に耕したあと、皆さんで手をつなぎ、前後左右にリズムをとりながら足踏みでどろどろの代掻きを「あつ」という間に終わらせてしまった。

先輩たちが田んぼで代掻きをする様子を一年生が見学に来た時には、すでに代掻きを終え、沢あそび



に夢中になっていた。その姿をうらやまし気に見る一年生はとても幼く、可愛かった。

代掻きも早々に終わり、千枚田の生きもの観察などを行う予定であったが、鳳来寺小学校は茶畑もあり十二日に父兄共々お茶つみを行い鳳来北部茶業組合で製茶加工する。

せつかくの機会であり、校区内にある各種工場や施設の社会学習の一環として茶工場を案内した。子ども達は生葉から製茶までの一貫の工程に茶葉の匂いを嗅いだり、手に取ったり、熱心に見学した。

五月十一日、五年生は六日に代掻きを終えた学習田に令和二年度米の食味ランキングで愛知県では初めての「特選」にランクされたミネアサヒの苗を植えた。

先輩たちが田植えをする様子を二年生が見学に来たが、一足違いで田植えは終わっていたため、千枚田の自然を楽しんだ。

田植え

○五月七日、JA愛知東が主催する「こども農学校」は米のありがたみを子どもたちに感じてもらうと毎年実施し、今年で十八年目になる。

参加した七十八人は千枚田の最上部に位置する段々田んぼで農協のお兄さんやお姉さんに苗の植え方を教えてもらったりして、泥まみれになりながらも、楽しく田植えを行った。

○豊橋調理製菓専門学校生は、将来食のプロを目指すその原点になるお米の大事さ、大切さを身をもって感じるため、田植えから脱穀までの育農実習を平成十八年から毎年行っている。

五月十二日、小雨降る中、十六名の学生たちは千枚田の景観に圧倒。

千枚田環境整備活動の実施

日時 令和四年五月二十八日(土)

雨天の場合は、翌二十九日

集合場所 千枚田入口の看板付近

作業内容 千枚田入口・ふれあい広

場周辺の草刈り

この一連の実習の一つ、田植えを行った。



長篠合戦のぼりまつり

毎年五月五日に開催。長篠の戦いで倒れた両軍将士の霊を慰めるために関係将士の紋入りのぼりを献植して祭りを行う。今年もコロナ禍で各種イベントは中止されたが、慰霊祭のみ執り行うことで千枚田のタニシを奉納した。(奥平忠正は長篠城でタニシとセリで飢えを凌ぎ籠城。その武勳で大分城主となった)

行 令和四年五月十五日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二